



文責 本宮小校長 佐久間仁

楽

しかった スキー教室

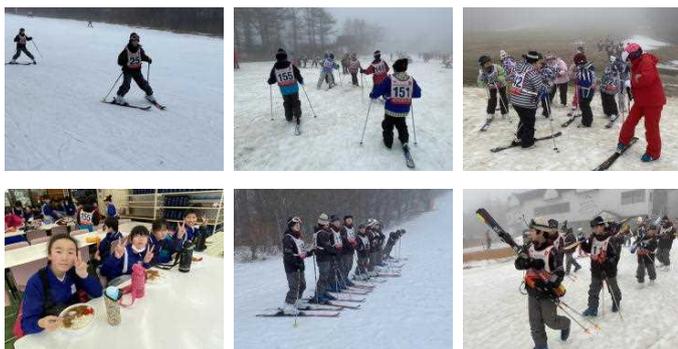


十九日にあたら高原スキー場で三〜六年生のスキー教室を行いました。当日はあいにくの曇り空で、ガスがかかって視界も悪く、決してベストコンディションとは言えない状況でしたが、予定通り実施することができました。

子どもたちは班ごとに分かれ、インストラクターの先生に、スキーの滑り方や止まり方などの基本を丁寧に教えていただきました。スキー靴を履いて、スキー板に乗るのが初めてという子どもも多く、バランスをとって立つのが難しく、うな様子でしたが、練習するうちにだんだん慣れてきて、上手に滑ることができるようになりました。後半はリフトにも挑戦し、山の上から斜面を下まで下りる経験もし

ました。上級者は、リフトを使って何度も上ったり下ったりをくり返し、自分の技量を高めました。お昼は美味しいカレーをいただきました。たくさん体を動かした後なので、お腹ぺこぺこで大盛りを頼む子もいました。お腹いっぱい食べてみんな満足そうでした。午後も約一時間スキーを楽しみました。大きなケガもなく元気に活動することができました。

冬のスポーツをめいっぱい楽しみました！



夢 の教室（五年）



陸上選手の千葉真子さんをお招きして、夢の教室が行われました。この事業は、様々な競技の選手が「夢先生」として登壇し「夢をもつことやその夢に向かって努力することの大切さ」「仲間との協力の大切さ」を伝えていこうとするものです。子どもたちは、集団遊びを通して協力の大切さを学んだり、先生の陸上人生における成功と挫折のお話を聞かせていただいたりしました。今回の貴重な体験をもとに、自分の夢に向かって努力する人になってほしいと思います。

感想(夢先生へのメッセージ)

○夢の教室で、考えることが大切だと分かりました。小さな目標でも少しずつがんばって目標に届くようにしたいです。私はネガティブ思考のときが多く、ダメなところがあるなと思っていましたが、先生のおかげで少しポジティブ思考でがんばりたいと思いました。○先生が色々なことを教えてくれて、また、自分の体験を教えてください、すごく勇気づけられました。みんなが発表したことにアドバイスやほめ言葉をかけてくれてすごく勇気づけられました。

○先生の夢の教室を受けて、夢の大切さ、そしてどんなにつらくても、させつしても、夢をあきらめないで続けていくということが分かりました。そして、自分の人生の主役は自分だから、夢に向かってがんばっていきこうという気持ちが強くなりました。○ぼくは、先生との夢の学習をして、「走る」とへの思いが強くなりました。先生から言われた「楽しむ」ということを、これからもこの言葉を大切にしていきたいです。ぼくも、大会などの練習を続けていきこうと思います。今日は、とても良い経験になりました。



夢に向かって

【思いやしの輪を広げよう！】

「小さな親切」実行章

武田鈴央 渡辺愛菜 高橋理人
国分玲音 遠藤一加 本多咲陽

*自転車を利用して困っていた高齢者を助けた行動により表彰されました。

【おめでとう】

二月号③書きぞめ展入賞者に誤りがありました。お詫びして訂正します。
〔金賞（毛筆の部）〕四年 菅野愛彩